

# たぐろ

JFグループ兵庫



## 特集 JFグループの運動方針

CONTENTS

- 2 JFグループの運動方針
- 4 輝く若手漁業者インタビュー
- 6 ようそろ/  
北濱紀義氏が兵庫県自治賞を受賞/  
令和7年度 兵庫県漁村子弟育英生募集
- 7 兵庫 JCC 通信/協同組合人養成講座の開催
- 8 SEATCLUB 魚介レシピ

JF全漁連主催の「JF全国代表者集会」において、海洋環境の激変に立ち向かうJF自己改革の断行をスローガンとする、2025年から5か年の「JFグループ運動方針」が満場一致で採択されました。

12月4日(水)東京都千代田区砂防会館別館で開催された集会には、全国各地から約1,000人の漁業者の代表者が出席し、石破首相からはビデオメッセージが寄せられました。また、運動方針の採択に向けて、JF坊勢の竹中太作組合長が意見表明を行いました。

JFグループ兵庫では、代表者集会で採択された新たな運動方針に基づき県域アクションプランを策定し、様々な取り組みを実践していきます。

## I. JFグループのこれまでの取組と課題認識

### 1 課題認識

#### 漁業・JFを巡る環境・社会情勢(課題)

- ◆海洋環境激変等による漁獲量の大幅な減少
- ◆ALPS処理水の海洋放出の影響
- ◆高まる食料安全保障の重要性
- ◆大規模自然災害への対応
- ◆燃油・資材・餌飼料価格の高騰・長期化
- ◆海業、スマート水産業など新たな価値観・ニーズ
- ◆漁業者、役職員の人手不足

#### JF本来の使命・役割(継続的な取組)

- ◆JFは漁業者による協同組織(出資、利用、運営の一体が原則)
  - ◆水産物の安定供給を通じた食糧安全保障
  - ◆国境・沿岸域の監視機能や海難救助等多面的機能の発揮
  - ◆沿岸域の環境・生態系保全と適切な資源管理
  - ◆団体漁業権管理を含む漁場の利用調整の役割
  - ◆漁村地域(浜)の活性化による地方創生への貢献
- 【3つの防人】

## II. 運動方針の骨子 <基本的考え方と3つの柱>

基本的考え方 JFグループは、協働組織の出資、利用、運営の原則を改めて認識し、海洋環境激変等の厳しい環境の中でも本来の使命・役割を持続的に発揮していく。

### 【スローガン】海洋環境の激変に立ち向かうJF自己改革の断行



JF全国代表者集会会場の様子



意見表明を行うJF坊勢竹中組合長

### 【第1の柱】漁業者を支える事業・経営改革の断行

環境変化に対応する漁業者を支えるため、経済事業機能の抜本的強化、総合事業体としての各種事業の展開、経営基盤強化等の事業・経営改革を実行するとともに、国産水産物の消費拡大に資する国民運動を展開する。

#### ①販売事業の抜本的強化【最重要事項】

- 利用の結集と事業の統合・提携・連携による価格形成力の向上
- 産地市場・施設の統廃合
- 水産物の更なる高付加価値化や未利用・低利用魚の活用による漁業者所得の向上

#### ②総合事業体としての各種事業の展開

- 事業共通:国産水産物の重要性訴求及び消費拡大にかかる国民運動
- 購買事業:取扱量向上プランの展開を通じた利用の結集と、地域と漁業の共生等、新たな領域への挑戦
- 指導事業:漁業経営基盤強化の支援、海洋環境の激変等に対応した営漁指導の実施
- 信用事業:漁業金融機能の発揮 ●共済事業:組合員・地域住民への保障提供
- ぎょさい事業:漁業経営の安定に資する「ぎょさい」の加入促進 ●漁船保険事業:漁業経営の安定に資するための各種事業推進

#### ③経営基盤の強化

- 各事業の強化、合理的・効率化、各事業間の連携強化 ●要改善JF対策、JF合併等組織再編
- 固定資産の老朽化や過大な保持への対策

### 【第2の柱】組織基盤の確立

漁業者を支える健全な組織基盤を確立するため、協同組織理念のもと、新規就業者・漁業後継者・JF人材の確保・育成、中核JFの組成・育成、内部統制強化等に取り組む。

#### ①協同組織理念の確認

- 協同組合理念の認知・再徹底に必要な組合員・役職員に対する啓発活動の実施

#### ②新規就業者や漁業後継者、JF人材の確保・育成

- 新規就業者や漁業後継者の確保・育成
- 浜とJFを牽引する役職員の確保・育成に向けた採用活動(協同組織の特長の訴求)・育成策の強化、待遇改善
- 女性参画の推進 ●青壮年活動の支援による将来の浜のリーダー育成
- 有識者、異業種等の多様な人材が活躍・協働する組織づくり

#### ③中核JFの組織・育成

- 事業機能提供、漁村地域貢献、健全経営等により中核的漁業者を支える態勢にある「中核JF」の組織・育成

#### ④コンプライアンス態勢等内部統制の強化

- 不祥事の未然防止対策や独占禁止法を含む各種法令の遵守徹底

#### ⑤新たな収益源の確保

- 浜の実態とニーズに応じてスマート水産業や海業の分野における資材の取扱推進を図ること等による組合員の漁業所得の向上や生活の安定への貢献

### 【第3の柱】浜での中核的役割発揮による漁村・漁業への貢献

漁村地域での中核的役割を發揮し、浜の活性化や沿岸環境の保全・回復、国境監視等多面的機能の發揮に貢献する。

#### ①組合員、JFによる様々な役割発揮

- 水産物の安定供給による食料安全保障 ●資源管理と海洋環境保全による資源と環境の回復
- 森・川・海の連携を含めた「豊かな海づくり」の推進 ●国境監視・海難救助をはじめとする多面的機能の發揮
- スマート水産業の推進による資源評価・管理の高度化と省人化・省力化等生産性の向上及び漁業者の安全確保への貢献

#### ②浜プラン・広域浜プランの実践

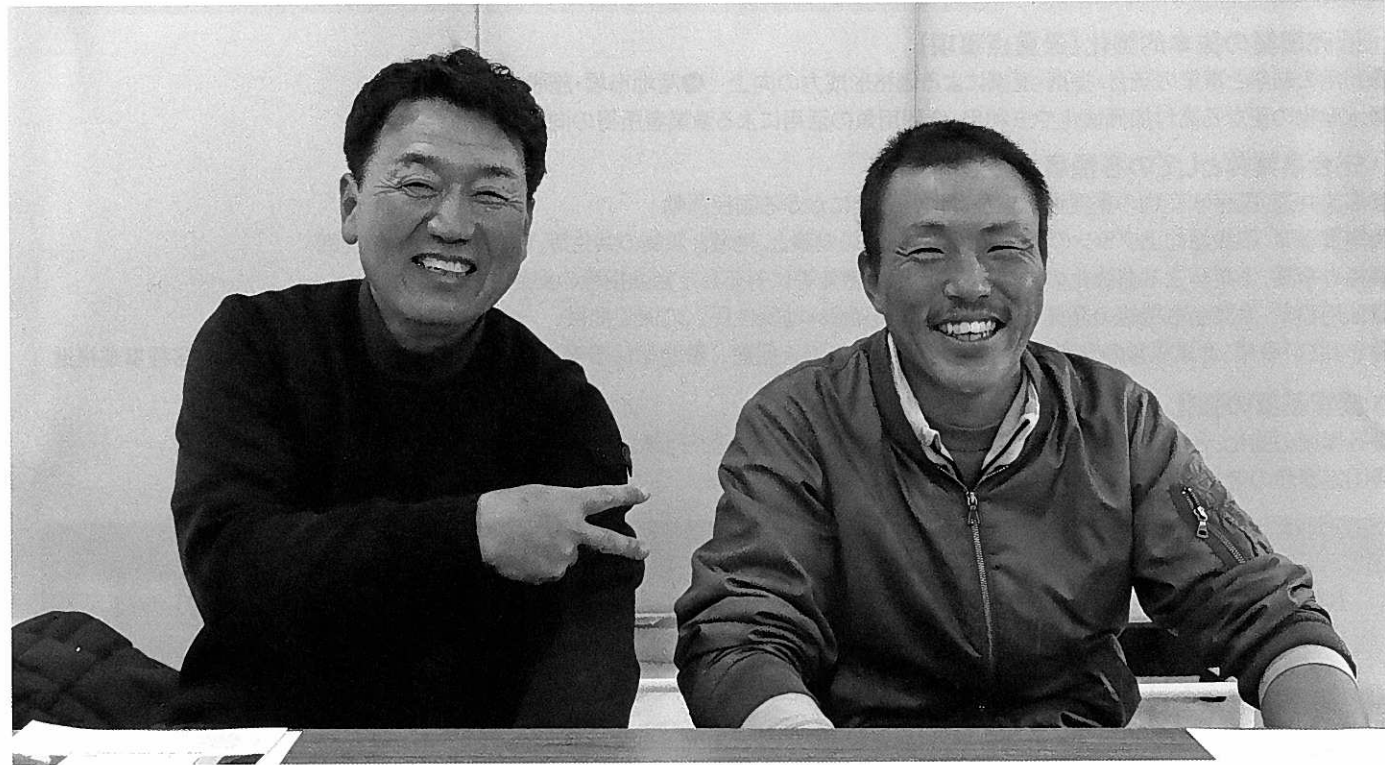
- 漁業所得の向上と漁村地域の活性化 ●浜の機能再編と中核的担い手の育成

#### ③異業種や農林業・商工業との連携

- 異業種や農林業・商工業者が有する技術・ノウハウの活用、協働

# 輝く 若手漁業者インタビュー

沼島漁業協同組合 **伊藤 彰浩** さん



今回は沼島漁業協同組合の伊藤彰浩さんにお話を伺いました。  
親方の中元浩靖さんにも同席いただきました。

## ●自己紹介をお願いします。

(伊藤さん) 伊藤彰浩です。33歳です。南あわじ市沼島出身です。妻、子供2人の4人家族です。

## ●着業して何年目ですか？

(伊藤さん) 7年目になります。

## ●漁業種類について教えてください。

(伊藤さん) 船びき網漁業です。

## ●漁師になろうと思ったきっかけは？

(伊藤さん) 大学を卒業して3年間は大阪で仕事をしていました。業種はスーパーで、鮮魚部担当として魚を売っていましたが日々ギャップを感じつつ仕事をしていました。沼島出身で育っているの、普段からいい魚を食べてきたこともあり、売っている魚を美味しいと思って売れなかった。これ絶対に美味しくないし、売れるわけないやろと思いつつも売らないといけないというギャップもあり、スーパーではこれ以上仕事を続けられないなと思っていました。たまたまその時期に、親方のお兄さん(義叔父さん)からシラス漁で若い人が1人欲しいというお話があり、いい具合に転職を考えていた時期と重なって、沼島に帰り漁師をはじめることになりました。

## ●漁師になることについて家族の反応はどうでしたか。

(伊藤さん) 父には「やめとけ」と言われました。父は底びき網漁業をやっています。父からは、底びき網漁業については、魚の値段も安くなっているし、「帰ってきてどうかなあ」と言われましたが、最終的には「中元水産でシラス漁をやるならいいよ」と言ってくれました。当時はまだ結婚していませんでしたが、沼島に戻ってくることをきっかけに、大阪で付き合いの彼女(妻)と結婚することになりました。

(中元さん) もう家も買ってな(笑)。

(伊藤さん) おかげさまで(笑)。

(中元さん) 沼島に帰ってきて何年で家を建てたん。

(伊藤さん) 結婚してからなので3年ぐらいです。

## ●どうして中元さんのもとで着業されることになったのですか？

(伊藤さん) 先ほどの話と重なるのですが、前職からの転職を考えていた時期にたまたま中元水産からお誘いをいただいたことがきっかけで着業しました。

## ●1日をどの様に過ごされていますか？

(伊藤さん) 朝5時に起きて、6時すぎぐらいには船にいます。出港の段取りをして7時に出港します。朝は網船に乗って網入れの手伝いをしています。魚がすぐにいる時なら7時半ぐらいに網入れを行います。網船で網入れを行った後、親方の手船に乗り移ってシラスを取り込む作業などを行います。これを3回ぐらい行っています。時期によって違いはありますが、多い時は

6~7回同様の作業を行うこともあります。基本的には、午後3時が網上げなので午後4時~4時半には帰港しています。

## ●シラスが多く獲れる時は1日に何かゴ(1カゴ約20kg)ぐらいになるのですか？

(伊藤さん) 多い時は300カゴぐらい獲れるときもあります。また、その最盛期が夏場の熱い時なので、めっちゃしんどいです(笑)。

## ●夏場と冬場で出港時間は違うのですか？

(伊藤さん) 夏も冬も出港時間は午前7時、網上げは午後3時で同じです。

(中元さん) 大阪湾、播磨灘と比べると出港時間が遅いので、夏場などはもう日が昇ってしまってから出港する感じです。

## ●休日とはどのように過ごされていますか？

(伊藤さん) 水曜日と日曜日が休みなので、週に1回は家族で買い物に行くのと、パチンコが好きなのでたまにパチンコに行きます。よく負けてますけど(笑)。

## ●実際に着業してみていかがですか？

(伊藤さん) 最初は魚が多い時に、右も左もわからないまま漁師をはじめたので、ただひたすらシラスのカゴなどを揚げていた感じでした。体はしんどかったですけど、体の使い方、力の入れ方が分かってきてからは、徐々に体を楽に動かせるようになってきました。

## ●そんな伊藤さんのことを中元さんはどう思っていましたか？

(中元さん) 彰浩が来てくれてとても助かっている。今となってはおらなあかん存在となっているのでこっちは楽な方に回らせてもらっている。仕事もよくできるし、何も言わなくても自分で動けるしな。

(伊藤さん) 肝心な所を親方にやってもらって、力のいることやちょっとした作業であれば、できるようになってきました。親方が少し用事などで不在の際には、舵をもって作業をさせてもらっていたので、なんとかカッコにはなってきたのかなと思っています。1日~2日ぐらいなら、親方が不在の場合でも何とか仕事を回せる程度にはなってきたのではと思います。

## ●最近の水揚げや海環境で何か思うことがありますか？

(伊藤さん) 僕が沼島に戻ってからの7年間は幸いにしていい水揚げが続いているので不漁という経験はないのですが、シラス漁一手という点が気にはなっています。

(中元さん) 沼島のシラス漁は漁場に恵まれている。ここ数年は値段が高値で取引されている。それとこの辺りは、大阪湾や播磨灘に比べて船数が少ないからその分漁がしやすいという点もあり恵まれていると思う。私だけでなく、どこの漁師も自分の漁場はいいと言いますが(笑)。今、消費者が求めているシラスが獲れているのではないかと考えている。小筋の白いシラスとか。海環境で言うと、若い時と比べると、シラスは少なくなっていると思う。つり漁業、底びき網漁業の方もそうかもしれないが、シラスの獲れる位置が変わってきている。これまで1年のうち7~8割はモンキーセンターの方へ向かって操業していたが、今は6~7割ぐらい徳島の方へ向かって操業している。何が原因かはわからないが、海環境が変わってきているのか、山から流れてくる栄養分などの影響なのか、シラスのいる場所が徐々



中元浩靖さん(親方)



伊藤彰浩さん

に変わってきている。彰浩らのこれから先は、一次産業というのは一番不安な商売よな。だから、沖のことも含めて様々な人と接して勉強して、仮にシラス漁が少なくなった時でも対応できるように色んなことを身に付けてほしい。それを頭に置いておかないといけない。一次産業はそういうところがあるからな。

## ●今後の抱負をお願いします。

(伊藤さん) 親方が急用で1~2日不在の場合にも、どの仕事でも完全に任せてもらえるように、きっちり作業していけたらと思っています。四隻の船があるのですが、どれでも扱えるようになりたいです。今でも任せてはもらっていますが、まだ頼りない点もあるのできっちり作業ができればいいかなと思っています。(中元さん) なんぼでも休めるな(笑)。

(伊藤さん) 任せてはもらっているのですが、親方が休みの日は緊張してしまうので。

(中元さん) そらそうよ。なかなかできるものじゃない。網船もできるし、運搬船でも舵を持ってできるということを言えよんや。これをできるってなかなか難しいねんけど、そこを目指してくれるのは頼もしい。

## ●伊藤さんが心掛けていることはありますか？

(伊藤さん) ケガをしないように。それと親方にも教えられたことなのですが、シラスは魚の中でもめちゃくちゃ小さいので、鮮度は絶対に落とさないこと。そのために取り組んでいることが今の操業のやり方なので、できるうちは確実にやっていると心掛けています。

## ●これから漁師を目指す方へのメッセージをお願いします。

(伊藤さん) 体力的にはしんどい仕事です。ただ、しんどい仕事だけど、獲れた魚を直接目にするってやっぱり獲れた時はやっぱりうれしいですし、やって良かったと思える仕事なので、このようなやりがいを感じられる人ならぜひとも頑張っていたらなと思います。

## ●伊藤さんへのメッセージをお願いします。

(中元さん) 今でも十分バリバリやってるからな。まあ、パチンコをやめることぐらいか(笑)。これもまあ、息抜きやしな(笑)。ほんまによく仕事を任せているからな。私が休みたい時に代わってバリバリやってもらえたらぐらいかな(笑)。

(伊藤さん) めちゃくちゃ漁が多い時だけは勘弁してください(笑)。

(中元さん) ほんまに彰浩が来てくれて感謝しています。本日はありがとうございました。



### 居住遍歴

一般財団法人 兵庫県水産振興基金 課員 中島 涼

去年の9月にJF兵庫漁連から兵庫県水産振興基金に出向となりました中島と申します。拓水の担当をやらせていただいております。JF兵庫漁連に入会してから2年目になり、私のことを知らない方がほとんどだと思いますので、この場をお借りして少し自己紹介をさせていただきます。

私は現在住んでいる兵庫に至るまで、北海道、大阪、高知に住んでいたことがあります。北海道で生まれ、5歳から大阪に引っ越し、18歳で高知に大学進学、22歳から兵庫で就職といった流れです。北海道では5歳まで過ごしましたが、ほとんど記憶が残っていないので大阪生まれと言っても過言ではありません。なので、「生まれはどこ？」という質問にはどう答えようか今でも迷います。

父の転勤により大阪に来てからは、幼かったこともあり方言というものを知らなかったので、話し方が少し違うことに驚いた記憶があります。大阪でできた友達と話をしていたら「なんで（語尾が）“しょ”なん？」と言われたことは今でも覚えています。そんなこと言われても…と思いましたが相手からしても私が変な話し方で驚いたのかもしれませんが、徐々に関西弁に染まっていき、普通に関西弁を話すようになっていました。

大学進学に伴い高知で一人暮らしをすることになり、長年住んできた大阪より田舎になるのでやっていけるのかと思いましたが、思いのほか居心地が良く、今では都会よりも田舎の方が合っているのではないかと思います。釣り、ドライブ、美味しいものを食べたりなど楽しい日々を送っていたらあっという間に4年が過ぎてしまいました。

JF兵庫漁連に入会してからは、少し寂しさはあるものの高知を出て兵庫で生活することになりました。住み始めてからすでに1年半以上経ち、慣れてきたところですが、まだまだ行ったことのないところがたくさんあるので遊びに行きたいと思っています。

こちらで自己紹介を終わらせていただきます。拙い文章ではありましたが、最後まで読んでいただきありがとうございます。最後になりますが、今後とも何卒よろしくお願いいたします。

## 北濱 紀義氏が兵庫県自治賞を受賞

1月15日（水）伊弉諾神宮において、北濱紀義氏（JF湊代表理事組合長）が、種苗放流や中間育成、水産資源の増殖活動を行うとともに、新たな藻類養殖の試験栽培に取り組むなど、漁業振興に貢献された功績から、兵庫県自治賞を授与されました。心よりお慶び申し上げます。



北濱 紀義氏(JF 湊 代表理事組合長)

## 令和7年度 兵庫県漁村子弟育英生募集!!

（一財）兵庫県水産振興基金では令和7年度育英生を次のとおり募集します。

### 1. 応募資格

- ①県下の漁業協同組合又は水産系統団体に所属する組合員又は職員の「子弟」及び「遺族」であり、高校又は大学等に在学(入学予定を含む)し、所属漁協・団体の長が育英生として適当と認めた方
- ②ただし、日本学生支援機構等から奨学金を受けている方は、本基金の育英生になることができません。

### 2. 貸与金の額

学 別	貸与月額	
大学生	30,000円	
高校生	通学生	20,000円
	寄宿生	25,000円

### 3. 申込方法

所属漁協を通じて「漁村子弟育英生申出票」、「貸与申込書及び添付書類」を提出してください。

提出期限	漁村子弟育英生申出票	令和7年3月28日(金)
	貸与申込書及び添付書類	令和7年4月25日(金)

## JAあかし 人にも環境にも優しい 餅づくりに取り組む

明石市の藤田佐代子さんは、夫婦で約50年にわたり農業に従事しながら、加工所「フーユ」を経営し、多様な種類の餅を心を込めて手作りしています。餅は自身で栽培するもち米を使用したこだわりの逸品です。

藤田さんは、良質なもち米を作るため、ほ場の環境整備に力を入れています。地力増進を図るため、近隣牛舎から得た牛ふん堆肥を活用し10aあたり約6tを施肥しています。

また、雑草が水を吸収して水不足とならないように隅々まで丁寧に草刈りをしたり、毎日欠かさずほ場に足を運び状態を確認するなど徹底した管理を心掛けています。これらの取り組みにより、収穫量は年間約1.8tにも上り、安定した生産量を長年維持しています。

直売所の開店と同時に出来立ての餅を提供するために、収穫したもち米を深夜2時頃から加工し始めます。あん餅やおはぎに加え、かしわ餅や桜餅など季節に応じた餅を無添加で製造しています。JAあかし本店経済課西條優菜さんは「購入者からは、『風味が良く、弾力があって美味しい』と評判で売れ行きが良い人気商品となっています」と話します。

また、JAあかしと連携し、例年、西宮市のショッピングモールで餅つきイベントを実施するなど消費者とのコミュニケーションを大切に、子供たちに食の魅力を伝えています。藤田さんは、今後も人にも環境にも優しい良質なもち米を栽培し、消費者に満足してもらえるような餅を届けていきたいと意気込みます。



<https://ja-grp-hyogo.or.jp/>

## 第20回 新春トップセミナー ・ 賀詞交換会 開催

兵庫県生協連は1月11日、湊川神社 楠公会館において、「第20回 新春トップセミナー・賀詞交換会」を開催しました。兵庫県の消費者行政の皆様や、共栄火災海上保険株式会社、会員生協・団体の役員と職員、あわせて38人の方々にご参加いただき、新年の決意を新たにす機会となりました。

新春トップセミナーでは岩山 利久会長理事の開会挨拶に続き、兵庫県知事 齋藤 元彦様からご挨拶いただきました。そして、神戸大学名誉教授・兵庫県立大学名誉教授 室崎 益輝様から「これからのコミュニティ防災のあり方～阪神・淡路大震災から30年、共助としての生協の可能性を考える～」と題して講演をいただきました。室崎氏は「災害の時代」を迎えているなかで、社会の減災を進める必要があり、そこにはコミュニティの果たす役割が非常に大きく、災害時において自助や公助で行き届かない部分を、多様な人が連携してコミュニティで防災を進めていくことの重要性を話されました。最後に、生活協同組合の連携する力や地域密着型の取り組みが、災害において大きな役割を果たすと述べられ、参加者への励みになることばをいただきました。



齋藤元彦知事



岩山利久会長理事



講師 室崎益輝氏

<https://www.coop-hyogo-union.or.jp/>

## 協同組合人養成講座 2月講座 2月19日(水)のご案内

開催時間	講座名	講義団体の名称
13:00～14:30	Excelパワークエリ講座	JF兵庫漁連 指導部 指導担当 田中 久善 YOUTUBEを活用して講義を実施致します
14:40～16:10	「ひょうご地魚推進プロジェクト」の取組について	コープデイズ神戸西 店長 北林 孝元

JF兵庫漁連 講座はWEB受講も可能ですので、多数の方々の参加をお待ちしております。また、会館での参加者による情報交換会では、簡単な食事と飲物を交えての職員間のコミュニケーションが図れますので、会館での受講にも参加下さい。

保存版

今が旬の魚介で作る!!

# 簡単!! 魚介レシピ

## イイダコの煮付け

イイダコは、温暖な海域に生息する小型のタコで、味や見た目の特徴から広く親しまれています。



### 材料

イイダコ	200g
塩	少々
A) 薄口醤油	大さじ1
A) 酒	大さじ1
A) みりん	大さじ1
A) 砂糖	大さじ1/2

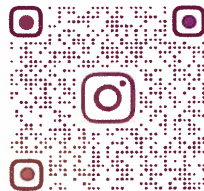


### 作り方

- ①イイダコの下処理（スミ抜き、塩もみ）をして、胴を下にして丸め、鍋底に並べる。
- ②調味料Aを加えて強火にかけ、アルミホイルの落とし蓋をする。
- ③火を弱めに泡で包んで2分、イイダコの上下を裏返して2分煮る。
- ④火から外し、少し冷ます。
- ⑤再び裏返して弱火で2分、さらに裏返して2分煮る。



HP



Instagram

ひょうごのお魚ファンクラブ

SEAT CLUB

表紙の言葉



沼島漁業協同組合 伊藤 彰浩さん

JF沼島で船びき網漁業に従事されている伊藤 彰浩さんにお話を伺いました。「シラスは魚の中でもめっちゃくちゃ小さいので、鮮度は絶対に落とさない」と漁でのこだわりを語る姿がとても印象的でした。